選抜大会で高校スポーツ界の春開く
新勢力が伸び男女とも例年にない活気湧く

高校スポーツ界は、春の選抜大会で一斉に長いシーズンの幕を開ける。ハンドボールも恒例になった愛知県立体育館で、3月24日より男女各25チームが参加し熱戦を繰り広げる。晴れの代表となった各チームは、日頃練磨した技を十二分に発揮され悔いのない試合をして欲しいものだ。

今年は、第7回目を迎えて、新興チームが多く、かつての名門と言われた数チームが姿を消し、ここでも新しく地図が書き変えられようとしている。そんな中でも、高校ハンドボール界最高の優勝記録を持ち、カムバックを狙う・名門桜台（愛知）を初め、国体を連覇した富山県の氷見、桜台の記録に迫ろうと最近すっかり安定した久留米工大附（福岡）、さらには、関東の強豪富岡（群馬）、関西期待の此花（大阪）、56年のインターハイを制した下松工（山口）、などは今年も健在だ。それらに対し、初出場組を含む新興チームがどう対戦するかが男子の見どころ。

女子は、第二期黄金時代を確立させようとする小松市女（石川）に対して、熊本市女（熊本）、名短大附（愛知）、昨年度のクィーン山陽女（岡山）など、女子も新チームや返り咲きを狙うチームで、こちらも好ゲームが展開されるだろう。

組み合わせをみると、男子は、Aゾーン2回戦で浦和実業（埼玉）に対し、氷見、大曲農（秋田）の勝者となり、早くもここで優勝候補の対戦となるが、この試合は、もう少し後の上位戦であてたい感もする。このところ埼玉代表は常に大会の上位を占め、県内がハイレベルであることを物語っている。その代表浦和実業は、繊細な技を巧みに使い分ける素晴しいチームで、特にフェイクの切れ味は抜群である。平均すると小柄の方だが攻守共にバランスのとれた大変実力のあるチームである。

また伝統の氷見は、毎年尻上がりに調子をあげるチームで、今年もまた期待できそう。北信越予選時は、最悪の状態で出場したそうで本大会では、可成りの力を発揮しそうだ。

Bゾーンは、連覇を狙う久留米工大附が断然優位に立つと思う。例年長身者揃いだが、特に今年のセブンは、1m80㎝を上回るようで、高校界初まって以来の大型チームだ。しかし、古賀監督は「春に間に合うか心配だ」と言っている。大型選手の仕上がりはなかなか時間のかかるもので、そこらが弱点となる他は、経験、練習量、戦術面と何ひとつ見ても問題点はみつからない。もし選抜も取るようなことがあると、昨年に引き続き再び三冠王への期待も出る。いずれにしろ、今大会も大いに興味を持たせてくれるだろう。これに桜台、日体荏原（東京）が続く。

Cゾーンは、中国予選で圧倒的な勝利を得た下松工と鋭いサイド攻撃をみせる沖縄の興南のいずれかとみる。

Dゾーンは、此花が持ち前のファーストブレイクを武器に、今年は上位進出は間違いなさそうだ。続くチームは、昨年の国体準優勝の富岡、北信越地区第1位代表の北陸（福井）、左右のロングヒッターを持つ、長崎日大（長崎）などが追う。

このような見方から、最後に栄光の座にすわるのは、久留米工大附、浦和実、氷見、下松工、此花あたりから出るのではないかと思われる。

一方女子は、小松市女が昨年からじっくりとトレーニングを積み、一段と技を付けたと言われる。それを追う熊本市女は、洗練された技術を備えている好チーム。それに関東の水海道二（茨城）、昭和学院（千葉）と可成りの力を持ち、候補に挙げることができる。Aゾーンに小松市女、熊本市女、昭和学院と強豪が図らずも隣り合わせしたのは、何とも皮肉である。そして御馴染みの名短大附、Dゾーンの山陽女、国分東（鹿児島）と侮れない。

これらの中から抜け出すのは、どのチームだろう。小松市女か熊本市女か、あるいは「今年こそ」と燃える名短大附か、そしてもう一枚、水海道二の中から春のクィーンが出そうな気がする。（川上整司）



『ハンドボール』

昭和59年3月号（第227号）目次

昭和58年度全国高等学校ハンドボール選抜大会組合せ



昭和58年度全国高等学校ハンドボール選抜大会組合せ

〈女子の部〉

Ⓐ

- 小松市女〈石川〉
- 熊本市女〈熊本〉
- 昭和学院〈千葉〉
- 高松商〈香川〉
- 緑丘商〈愛知〉
- 東宇治〈京都〉
- 熊毛北〈山口〉
- 上磯〈北海道〉
- 静岡城北〈静岡〉
- 粉河〈和歌山〉
- 大曲農〈秋田〉
- 栃木女〈栃木〉

Ⓑ

Ⓒ

- 名短大附〈愛知〉
- 彦根南〈滋賀〉
- 小禄〈沖縄〉
- 仁愛女〈福井〉
- 水海道二〈茨城〉
- 今治南〈愛媛〉
- 釧路星園〈北海道〉
- 山陽女〈広島〉
- 暁〈三重〉
- 郡山女〈福島〉
- 国分実〈鹿児島〉
- 佼成女〈東京〉
- 宣真学園〈大阪〉

Ⓓ

●第8回日本リーグ男子〈後期〉

湧永、完全優勝で四冠達成

第8回日本リーグ男子の後期は、1月27日から2月12日まで各地で熱戦を展開した。

前期全勝の湧永製薬を追う大同特殊鋼が、後期第1週で本田技研鈴鹿に敗れ、この時点でほぼ優勝争いの興味が失なわれてしまった。湧永は、大勢のナショナルプレーヤーを擁して順調に勝ち進み、最終戦でもライバル大同を下して全勝で6シーズンぶり2度目の優勝を飾った。

これで湧永は、全日本実業団、国体、全日本総合につづいて四冠目を達成、今季無敵の強さを見せつけた。

▽後期第1週第1日

1月27日(金)

●呉市立体育館（広島）

湧永製薬 21（8-9、13-7）16 本田技研鈴鹿

得	【湧永】		【本田】	得
0	本城	GK	大畑	0
0	井藤	GK	中尾	0
1	池ノ上	FP	佐々木	1
1	生駒	FP	三本松	1
0	穂積	FP	豊岡	0
3	藤本	FP	玉井	3
0	志賀	FP	栗屋	0
0	内田	FP	立木	0
2	松本	FP	坂本	2
0	山本	FP	尾上	0
2	原田	FP	田野	2
7	檜原	FP	吉山	7
16	(0)	PT	(0)	16

（審・北山 大島）

○…寒さのためか、両チーム固い動きでスローなスタート。本田が先行しそれを湧永が追う形の展開。湧永は本田ディフェンスを攻めあぐみながら26分、ようやく松本のポストで8-8の同点に追いついたものの前半終了間際に本田・吉山のシュートで9-8。

後半に入り、コンビネーションががガ然よくなった湧永は、生駒のミドルで同点のあと松本が得意のポストで2連取とアッサリ逆転。その後は湧永は持ち前の機動力をフルにいかして本田を圧した。

また、湧永・井藤、本田・大畑の両全日本GKが、たがいに美守巧技を見せ試合を盛り上げた。

日新製鋼 38（19-10、19-10）20 三陽商会

○…ホームゲームの日新は、大応援団をバックに、スタートから猛攻。地力の違いを見せつけ前半から一方的なゲーム展開とした。後半に入ってもペースは変わらず関一人に頼る三陽は、監督・金子が自らコートに立って流れを変えようとしたが、日新の破壊力の前にジリジリと後退を余儀なくされた。

得	【日新】		【三陽】	得
0	三田	GK	大山	0
0	谷	GK	田村	0
0	泉	FP	関	8
1	徳田	FP	金子	4
4	吉見	FP	田口	1
5	洞ヶ瀬	FP	坪子	0
1	脇若	FP	砂川	3
2	森	FP	山口	1
4	甲斐	FP	石原	1
7	高木	FP	望月	2
10	西山	FP	鵜沢	0
4	藤井	FP	亀井	0
38	(3)	PT	(0)	20

（審・中村 古富）

三陽は、巻き返しのチャンスもあったが、そのたびに甘いシュートで、日新の新人GK・谷の前にその芽を自らつぶし、自滅の形に終った。

▽後期第1週第2日

1月29日(日)

●新居浜市民体育館（愛媛）

大崎電気 20（12-10、8-9）19 三陽商会

得	【三陽】		【大崎】	得
0	大山	GK	原田	0
0	田村	GK	矢内	0
8	関	FP	斉藤	6
1	金子	FP	東江	2
1	田口	FP	武田	1
0	坪子	FP	長野	10
4	砂川	FP	櫛田	0
3	山口	FP	松岡	0
0	石原	FP	越迫	1
2	望月	FP	宮崎	0
0	鵜沢	FP	大澤	0
0	亀井	FP	大幡	0
19	(2)	PT	(6)	20

（審・松原 伊藤）

○…大崎の斉藤、長野対三陽・関の得点争いといったゲーム内容で、お互いディフェンスに甘さとラフプレーが多く見られ、大崎が終始1、2点リードする形での展開であったが終盤27分に最大のヤマ場がおとずれた。

23分、24分と連続ゴールして三陽を初の同点（18-18）に導いていた関が相手の速攻をゴール前で後ろから押し、痛恨の退場となり、大崎はそれから得たPTを武田が慎重に決め、さらに長野がロングで追い討ちし、ねばる三陽を突き放した。

本田技研鈴鹿 21（11-10、10-8）18 大同特殊鋼

○…すべりだし本田の闘志がから回りしている間に、大同は田口、中本、高村らオリンピック候補選手の豪快なロングシュートで8分、5-2と大きく差を広げる気配だった。ところが、本田は圧倒的な応援団の声援を背に10分、田野から新人・立木へのメンバーチェンジが巧を奏し、その連続ゲットからジリジリ差をつめ、20分、7-7と同点に追いつき、さらに逆転と願ってもないゲーム展開となった。ところが、大同も王者の意地で、そうやすやすとリードを許さない。田口で同点、さらに大原で再逆転と押し気味。しかし、本田GK・大畑の好キープで大量点がとれず一進一退のクロスゲームのまま終盤戦23分、蒲生で17-17と10度目のタイスコアになったが、本田は三本松が強引な割り込みで4連続ゴールを奪い、勝利へ突き進んだ。

得	【大同】		【本田】	得
0	上村	GK	大畑	0
0	柳川清	GK	中尾	0
0	田中	FP	佐々木	0
5	田口	FP	三本松	7
0	柳川実	FP	豊岡	0
7	大原	FP	玉井	2
2	中本	FP	栗屋	0
0	河井	FP	立木	4
1	蒲生	FP	坂本	5
0	海江田	FP	尾上	1
0	市川	FP	田野	0
3	高村	FP	吉山	2
18	(2)	PT	(0)	21

（審・松原 高橋）

いつもなら途中でくずれている本田だったが、再三、再四のノーマークピンチを、神ワザで阻止した大畑と応援団がかげの功労者といえる。

湧永製薬 23（13-7、10-8）15 日新製鋼

○…開始早々から湧永・生駒のパワフルシュートがゴールネットに連続してサク裂して観衆のドギ

得	【湧永】		【日新】	得
0	大城	GK	三田	0
0	井藤	GK	谷	0
5	池ノ上	FP	泉	0
4	生駒	FP	徳田	1
3	穂積	FP	洞ヶ瀬	1
0	藤本	FP	脇若	0
0	志賀	FP	日野	0
5	松本	FP	森	2
4	山本	FP	甲斐	0
2	原田	FP	高木	2
0	檜原	FP	西山	8
0	津川	FP	藤井	1
23	(3)	PT	(3)	15

（審・野中、竹村）

モを抜く。原田のサイド、池ノ上のステップなどで攻撃力にまさる湧永は、守っても全日本の神護神・井藤で日新の攻撃を単発に抑え16分には8－3とワンサイドゲームと思われたが地力をつけてきている日新は、西山、高村がよくふんばり2点差まで追い上げて前半終了、後半に期待をつないだ。

だが後半21分間で湧永11点、日新はPTを含む2点のみの拙攻で21－10と大きく突き放されてしまった。

日新は若さゆえか、リズムに乗りきれずGKを含めディフェンスも今ひとつで終盤余裕を見せた湧永に点差をつめるにいたらなかった。

▽後期第2週第1日

2月3日(金)

●東京都体育館（東京）

大同特殊鋼　23（13－9　10－12）21　日新製鋼

○…前週、本田に敗れた大同とAクラス進出を目ざす日新との戦

得	【日新】		【大同】	得
0	谷	GK	上村	0
0	三田	GK	柳川清	0
2	泉	FP	田中	0
1	徳田	FP	田口	5
1	吉見	FP	柳川実	2
1	洞ヶ瀬	FP	大原	4
1	脇若	FP	中本	3
3	森	FP	河井	0
0	甲斐	FP	蒲生	6
2	高木	FP	海江田	0
8	西山	FP	市川	0
2	藤井	FP	高村	3
21	(2)	PT	(1)	23

（審・大塚、後藤）

いぶりが注目された一戦。

立ち上がりから積極的な戦いを見せる日新は、エース西山の中央からのロングで先行。前週につづく敗戦かと思わされる冴えのない動きをくり返す大同は、後半、中盤にさしかかって日新のディフェンスをとらえ逆転。その後は、必死に追撃する日新だが、終盤に入って、大同・中本のポストが冴え、逃げ切って勝利をものにした。

湧永製薬　27（15－13　12－7）20　大崎電気

得	【湧永】		【大崎】	得
0	大城	GK	岡部	0
0	井藤	GK	矢内	0
4	池ノ上	FP	斉藤	4
2	生駒	FP	東江	1
5	穂積	FP	武田	1
2	藤本	FP	長野	13
1	志賀	FP	櫛田	0
0	中川	FP	松岡	1
0	内田	FP	越迫	0
4	松本	FP	宮崎	0
6	山本	FP	大澤	0
3	原田	FP	八幡	0
27	(1)	PT	(4)	20

（審・佐分、三枝）

○…勝ち星の欲しい大崎だが、完全優勝を目前にした湧永では荷が重い相手。

前半から山本、松本で飛ばす湧永は、大崎・エース長野に得点を許すものの12－6で折り返し、後半に入ってからも、生駒、池ノ上、志賀、GK井藤らのナショナルメンバーを駆使して、粘る大崎を危なげなく下し8勝目をマーク、優勝まであと1勝とした。

▽後期第2週第2日

2月4日(土)

●東京都体育館（東京）

日新製鋼　26（17－11　9－8）19　本田技研鈴鹿

得	【本田】		【日新】	得
0	大畑	GK	谷	0
0	中尾	GK	三田	0
3	佐々木	FP	泉	0
5	三本松	FP	徳田	2
0	豊岡	FP	吉見	2
4	玉井	FP	洞ヶ瀬	2
0	栗尾	FP	脇若	0
4	立木	FP	日野	0
2	坂本	FP	森	2
0	尾上	FP	高木	7
1	田野	FP	西山	7
0	吉山	FP	藤井	4
19	(3)	PT	(1)	26

（審・大塚、後藤）

○…本田・大崎のキーピングの冴えと、日新・西山、高木のロングの攻防から前半は互角のクロスゲームを展開。後半に入って、日新は西山を軸とした連続得点を重ね点差を開き始めた。残り10分、本田は三本松などの得点で4点差まで詰め寄ったが、得点力で上回る日新は、再び盛り返し力を見せつける形の快勝に終わった。

大同特殊鋼　19（12－8　7－10）18　大崎電気

○…すでに二つの黒星をつけら

得	【大同】		【大崎】	得
0	上村	GK	原田	0
0	柳川清	GK	矢内	0
0	田中	FP	斉藤	8
5	田口	FP	武田	1
2	柳川実	FP	東江	2
1	大原	FP	長野	6
0	中本	FP	櫛田	0
0	河井	FP	松岡	0
3	蒲生	FP	越迫	1
0	河井	FP	宮崎	0
5	市川	FP	大澤	0
3	高村	FP	八幡	0
19	(1)	PT	(2)	18

（審・島田、菊地）

れた大同は、このゲームでも調子が出ず、前半10－7と3点のリードを大崎に許してしまった。後半戦に入って、大崎に期待が持たれたが、大同の地力が一気に出たかのように5分過ぎには10－10の同点に追いつき、8分には13－10と逆転。ようやく本来の姿を取り戻した。

一方、大崎も意地を見せ執ように食い下がった。終了間際には1点差まで詰め、観衆を沸かせる熱戦を展開してくれた。

湧永製薬　24（13－11　11－7）18　三陽商会

得	【湧永】		【三陽】	得
0	大城	GK	大山	0
0	井藤	GK	内野	0
2	池ノ上	FP	関	7
4	生駒	FP	金子	3
4	穂積	FP	田口	0
2	藤本	FP	坪子	0
1	志賀	FP	砂川	3
1	中川	FP	山口	2
5	松本	FP	石原	0
4	山本	FP	望月	2
1	原田	FP	鵜沢	0
0	檜原	FP	亀井	1
24	(1)	PT	(0)	18

（審・岡本、清水）

○…開始2分、三陽は関の左45度を大きく割って入ったシュートで先行したものの、この試合をものにすれば最終戦を待たずに優勝が決まる湧永は、前半で勝負を決めようとする積極的な攻撃をしかけた。生駒の豪快なセンターからのロングの後は、さらにGK井藤からのパスを、テクニシャン山本と最高得点率を狙う松本の速攻で得点を重ねた。

一方、三陽は監督・金子が軸になりディフェンスを固める作戦で湧永のロングを封じたが、攻撃ミスが多く、前半で4点差をつけられてしまった。

後半も湧永は、ベテラン穂積、藤本が着々と得点、余裕のあるゲーム運びで、金子、関らが必死に追撃を計ろうとする三陽を寄せつけなかった。

これで湧永は、最終週を待たずに6年ぶり2度目のリーグ優勝を決め、全日本実業団、団体、全日本総合と合わせ四冠を達成した。

▽後期最終週第1日

2月11日(土)

●鈴鹿市体育館（三重）

大同特殊鋼　26（13－11　13－5）16　三陽商会

○…前半、大同は蒲生、田口のロングなどで先行。15分まで三陽を石原のサイド2本に押さえ込み、7－2とリード。その後も柳川、中本の巧技でリードを広げ13－5とした。

区分	【大同】	得	【三陽】	得
GK	上村	0	大山	0
GK	柳川清	0	内野	0
FP	田中	1	関	3
FP	田口	6	金子	1
FP	柳川実	2	田口	1
FP	大原	1	坪子	0
FP	中本	2	砂川	4
FP	河井	2	山口	1
FP	蒲生	6	石原	3
FP	海江田	0	望月	1
FP	市川	6	鵜沢	0
FP	佐藤	0	亀井	2
計		26		16
PT		(5)		(2)

（審・吉田、秋山）

後半も、市川ら若手のはつらつとしたプレーでリードを守り大同が逃げ切った。三陽の得点の大半はサイドからのもので、フローターによるロングシュートが見られなかったのが敗因のひとつ。また、大同では蒲生、田口、市川らがいずれも6得点と活躍した。

本田技研鈴鹿 21（8－12、13－7）19 大崎電気

区分	【大崎】	得	【本田】	得
GK	原田	0	大畑	0
GK	矢内	0	中尾	0
FP	斉藤	5	佐々木	3
FP	東江	2	三本松	3
FP	武田	1	長野	0
FP	長野	10	玉井	0
FP	松岡	0	栗屋	0
FP	越迫	1	立木	10
FP	宮崎	0	坂本	3
FP	星野	0	尾上	0
FP	大澤	0	田野	0
FP	八幡	0	吉山	2
計		19		21
PT		(3)		(2)

（審・川島、森）

○…本田は、6分、立木の連続得点で3－1とリードを奪ったが、大崎は長野が前半9得点をあげる活躍で逆転、12－8と4点リードして前半を終えた。後半に入って本田は11分、三本松のフェイントからのシュートで追いつき、坂本がサイドから決めて逆転。

大崎は後半初めに長野が負傷して退場したのが痛く、斉藤がよく頑張ったが届かずに終った。10得点をあげた本田の新人・立木の活躍が光っていた。

▽後期最終週第2日

2月12日(日)

●露橋スポーツセンター（愛知）

本田技研鈴鹿 22（13－12、9－10）22 三陽商会

区分	【本田】	得	【三陽】	得
GK	大畑	0	大山	0
GK	中尾	0	内野	0
FP	佐々木	2	関	2
FP	三本松	6	金子	5
FP	豊岡	0	田口	2
FP	玉井	5	坪子	0
FP	栗屋	0	砂川	7
FP	立木	5	山口	1
FP	坂本	3	石原	0
FP	尾上	0	望月	5
FP	田野	0	鵜沢	0
FP	吉山	1	亀井	0
計		22		22
PT		(3)		(4)

（審・岩本、岩永）

○…立ち上がり35秒、本田・立木のサイドシュートで先行。その後も速攻、カットインなど鋭い攻撃で次々と加点。一方、三陽も25分過ぎから本田のミスに乗じてよく追い上げ、前半12－13の1点差まで詰め寄った。

後半に入っても一進一退のゲーム展開がつづき、終了40秒前に三陽・砂川のシュートで同点に追いつき、今季リーグ初の引き分け試合となった。三陽にとっては、白星ではないものの、最終戦で見せた〝意地の戦い〟だった。

日新製鋼 30（12－9、18－12）21 大崎電気

区分	【大崎】	得	【日新】	得
GK	岡部	0	三田	0
GK	矢内	0	谷	0
FP	斉藤	6	泉	1
FP	東江	5	徳田	1
FP	武田	4	吉見	2
FP	長野	0	洞ヶ瀬	1
FP	松岡	6	脇若	0
FP	越迫	0	森	1
FP	宮崎	0	甲斐	3
FP	星野	0	高木	3
FP	大澤	0	西山	14
FP	八幡	0	藤井	4
計		21		30
PT		(4)		(4)

（審・川島、森）

○…前半、大崎は動きが良く、攻撃のリズムをつかんだかに見えたが、その後、日新も好ディフェンスからエース西山のシュートで得点を重ね、前半は日新3点リードで終了。

後半に入っても日新は攻撃の手をゆるめずに次々と加点。一方、大崎も東江の好プレーで追撃するものの、点差を縮めるにいたらなかった。

大崎は、前日につづく長野の欠場が響いた試合といえた。

湧永製薬 19（11－5、8－12）17 大同特殊鋼

区分	【大同】	得	【湧永】	得
GK	上村	0	大城	0
GK	柳川清	0	井藤	0
FP	田口	3	池ノ上	7
FP	柳川実	2	生駒	3
FP	大原	3	穂積	2
FP	中本	3	藤本	3
FP	河合	0	志賀	1
FP	蒲生	4	中川	0
FP	海江田	0	松本	2
FP	市川	0	山本	1
FP	佐藤	0	原田	0
FP	田中	2	槍原	0
計		17		19
PT		(2)		(3)

（審・島崎、井上）

○…互いに手のうちを知り尽くしている両チームは立ち上がりから激しい攻防を展開し、前半15分までは一進一退であったが、その後、湧永はスピーディーな展開から次々と得点を重ねた。

後半に入ると大同は田中、蒲生らの速攻で猛烈に追いあげ、残り5分には田口のシュートでついに同点に追いついた。だが、機動力に勝る湧永は、生駒、池ノ上のシュートがサク裂し、追いすがる大同を突き放した。

日本リーグ入れ替え戦

大崎電気、三陽商会が残留を決める

日本リーグ入れ替え戦は、2月25、26日の両日、東京重機体育館で行なわれ、大崎電気は連勝、また、三陽商会は1勝1敗ながら得失点差で上回り、ともに1部残留を決めた。

▽2月25日(土)

三陽商会 29（12－9、17－11）20 中村荷役

大崎電気 34（16－5、18－5）10 トヨタ車体

▽2月26日(日)

中村荷役 26（14－7、12－13）20 三陽商会

大崎電気 37（18－5、19－12）17 トヨタ車体



全日本総合選手権大会に優勝して

●男子　湧永製薬――本当に幸福なラッキーなことだと思う

今回、幸いな事に5年連続7回目の優勝をすることが出来ました。日本のチャンピオンシップを競うこの大会に7回も（私自身としては6回ですが）優勝できたなんて本当に幸福な、ラッキーなことだと思います。

他の大会に比べて比較的成績が良いせいもあって、数々の思い出深い試合があります。私にとって最も思い出深いのはやはり51年の何年振りかの優勝であります。先日もこの試合のビデオを見ましたが、大同の野田さん、藤中さん、中井さん、松原さん、湧永の木野、高橋、緒方、戸田(栄)、今井といった大変懐しい顔ぶれがそろい、現在までの時の流れを感じない訳にはおられませんでした。その私にとって忘れられない顔ぶれが、今大会にまた元気な雄姿を見せてくれました。その試合巧者ぶりは、今のハンドボールになくなりつつあるペースの取り方であり、それぞれの役目をしっかり自覚し、攻防にひとつのポリシーを感じることができます。ですからハンドボールを良く知っている人にとっては、大同クラブのゲームは興味深い試合だったと思います。パワー、高さに優れている現在の選手、チームにとって今一番足りないのはこの点だと思います。（もちろん湧永も例外ではありません）

次に苦い思い出として53年度の決勝戦があります。終了5分前まで3点リードしてたのをタイムアップ寸前のフリースローを蒲生君に決められ延長で負けたゲームです。自分に腹を立ててムカムカしながら帰途についたのを覚えています。今全日本メンバーの松井君が4年生の時の日体大とのゲームも、久し振りに生きの良い学生と試合したということで頭に残っています。我々実業団の選手にとって総合は学生とゲームできるということで楽しみでもありますが、残念ながら学生の方はそうでないらしく、4年生が出なかったり、初めから勝つ気がなかったりでなさけないことだと思います。57年の準決勝、本田技研戦も忘れられない試合です。ラスト20秒で一人退場、しかも相手ボール、山本がカットしてシュートが決まるまで、まるでスローモーションを見るように頭の中にしっかり焼きついています。

数々の思い出のしみ込んだ優勝旗も、今度から新しいものとなりましたが湧永としてもいつもフレッシュな気持を忘れず、また新しい一歩を全日本総合選手権大会の歴史に刻んでいきたいと思います。

監督・津川　昭

●女子　大崎電気――日本一になることの素晴らしさ、難しさ

選手諸君、ありがとう

小さなハンドボールの世界だけど、日本一になる事のすばらしさ、そして難しさ!! 今後に生かそう。最後に大崎電気を応援して下さった皆様、ありがとうございました。

監督　谷口俊郎

いよいよ大崎電気ハンドボールチームもターゲットになりました。"実るほどに頭を垂れる稲穂かな"のことわざを忘れないで…。

李　寿親

優勝というのがこんなにうれしいことだとは思わなかった。日本での始めての優勝は私自身にとって一生忘れられないことでしょう。

李　相玉

優勝できてとてもうれしかった。この感激は一生忘れません。これからも優勝できるよう精一杯頑張ります。

李　京姫

大崎電気工業(株)第三十五回全日本総合優勝。十七年ぶりの優勝旗をこの手にした時は何ともいえぬ気持でした。決勝戦、試合終了の笛、この瞬間を私は絶対に忘れることができないと思います。もうすぐ優勝だ、優勝だと言われ、優勝できなかった。このつらい日日がやっと報われたようです。

梅野　康子

優勝おめでとう

"やった！ 優勝した!!" 握りこぶしを作り、思わず出たガッツポーズ……最高だった。あの感激をもう一度！

石井美沙子

今までの苦しみを全部吹き飛ばした最後の笛の音は一生忘れられません。優勝バンザイ!!

徳渕 妙子

真の感激の涙でした。一瞬にしてハンドボールと優勝のすばらしさを味わうことができ幸せです。これからも頑張ります。

宮嶋 博美

最後のホイッスルが鳴った時、やったと思いました。六年間のハンドボール生活のすべてがあの優勝だったと思います。

渡辺 典子

勝って流す涙と負けて流す涙の違いを知った。優勝、日本一、その涙で感無量の気分を味った。

嘉本 浩子

あの感激は本当に最高でした。今度は自分がシュートを決めて、もう一度感激を味わいたいです。

塩谷 操

優勝の瞬間は、ただ、うれしい!!だけでしたが、後になって事の重大さに気がつき、この場にいる事をほんとうに幸せだと思います。

大日加津子

試合終了の笛が待ち遠しく、鳴った瞬間、ヤッターと思い、涙が幾筋も流れる程うれしかった。

時実 良枝

私が数年間ハンドボールをやってきた中で、優勝というのは初めての経験で、もう嬉しいの一言です。

藤田百合子

やったぁー！ 大崎電気バンザイ!! 感無量です。今度はこの感激をコートの中で!!

大西佐代子

胸がいっぱいで涙が流れるだけでした。あの何とも言えない感激は忘れることはできません。

沖山千恵子

一年目にしてこの感激を味わえた事、とてもうれしいです。初心を忘れずに頑張ります。大崎優勝!! バンザイ!!

須永 光恵

試合終了、その瞬間もう涙、涙、涙でした。言葉にならない最高の喜び。一生忘れられない、日本一の味。

西村 真美

優勝というのが信じられませんでしたが、みんなで一丸となってやってこれた成果だと思い、うれしかったです。

野上 和代

最後のホイッスルが体育館中に鳴り響いた瞬間、観客の歓声で念願だった日本一になったんだと思いました。

橋本 優子

"優勝" "日本一" ……十七年ぶり……。

一年目でこの感激を味わうことができて"うれしい"の一言です。本当にありがとうございました。

深沢しのぶ

"やったぜ!! 日本一" チームの一員としてこの感激が味わえただけでも幸福です。これからも頑張ります。

松尾 輝子

"やったぁ"の一言、大崎電気を支えて下さったすべての人に感謝！ ありがとうございました。

池田 孝子

第15回全日本実業団男子トーナメント大会

日鉄建材 感激の初優勝

第15回全日本実業団男子トーナメント大会は、2月11日から13日まで3日間、大分県立総合体育館と新日鉄明野体育館を使って行なわれた。

出場32チームの中から日本リーグ2部で今季7位の日鉄建材が、1位の中村荷役、3位の三景といった強豪チームを押えて感激の初優勝を飾った。

▽1回戦

日鉄建材（大阪）27（14-4、13-5）9 久里浜自衛隊（神奈川）

得	【久里浜】		【日建】	得
0	増田	GK	蓑輪	0
0	下平	GK	川上	0
0	渡辺	FP	若本	2
0	洲鎌	FP	素原	0
0	白坂	FP	清原	1
3	友利	FP	池辺	2
3	杉山	FP	古川	1
0	本塚	FP	外山	5
0	磯野	FP	山口	7
0	菅野	FP	杉本	2
3	畑中	FP	霜村	3
		FP	中山	4
9	(1)	PT	(4)	27

（審・南、友寄）

武田薬品（山口）28（14-7、14-2）9 日本碍子（愛知）

得	【碍子】		【武田】	得
0	野本	GK	清水	0
		GK	西本	0
0	本山	FP	長棟	3
0	磯山	FP	西野	3
1	江口	FP	杉山	0
2	伊藤	FP	末長	10
0	上石	FP	吉田	1
1	梅岡	FP	三宮	4
5	広田	FP	川本	1
0	柘植	FP	酒井	0
0	峯	FP	小川	5
0	浅野	FP	仁科	1
9	(0)	PT	(2)	28

（審・森山、田原）

東京重機（東京）25（13-10、12-7）17 日本鋼管福山（広島）

得	【鋼管】		【重機】	得
0	瀬良	GK	吉田	0
0	林	GK	矢島	0
0	村田	FP	卯野	4
0	岡崎	FP	千葉	0
0	辺見	FP	佐藤	8
8	篠田	FP	古屋敷	2
4	金井	FP	鷹野	8
0	西郷	FP	高橋	3
3	井上	FP	奥山	0
2	本田	FP		
0	藤島	FP		
17	(1)	PT	(2)	25

（審・蒲山、岡山）

本田技研爽風会（三重）26（14-10、12-5）15 出光千葉（千葉）

得	【出光】		【爽風会】	得
0	久村	GK	三宅	0
		GK	松下	0
1	千葉	FP	山本	6
4	福山	FP	山田	1
0	赤羽	FP	小川	1
0	田中	FP	真砂	10
0	浅海	FP	東	1
4	佐々木	FP	船谷	3
3	永石	FP	山下	0
0	清村	FP	平子	4
3	鶴岡	FP		
15	(0)	PT	(3)	26

（審・井手、島田）

新日鉄名古屋（愛知）20（11-9、9-5）14 日進商会（神奈川）

得	【日進】		【名古屋】	得
0	高良	GK	岩上	0
0	小坂	GK	河合	0
1	芹沢	FP	平野	2
3	小田	FP	阿久根	0
1	馬場	FP	不破	5
0	岡田	FP	蟹江	9
1	内野	FP	戸次	2
0	清水	FP	上之薗	0
1	夏目	FP	渡辺	1
4	出口	FP	各務	0
2	船見	FP	伊藤	1
1	奥野	FP	土屋	0
14	(2)	PT	(2)	20

（審・南、友寄）

大阪ガス（大阪）39（21-2、18-2）4 大分鉄道管理局（大分）

得	【管理局】		【ガス】	得
0	立川	GK	森	0
		GK	福田	0
0	園田	FP	奥野	5
1	八坂	FP	岩本	8
0	黒木	FP	竹志	6
2	吉良	FP	藤井	7
1	吉田	FP	藤田	1
0	林	FP	新家谷	1
0	藤沢	FP	長田	5
0	安部	FP	中村	3
		FP	山崎	3
4	(0)	PT	(4)	39

（審・田原、森山）

豊田合成（愛知）18（9-10、9-6）16 日本発条（神奈川）

得	【発条】		【合成】	得
0	谷川	GK	上條	0
0	清水	GK		
0	石塚	FP	太田	0
4	井上	FP	花井	0
1	及川	FP	渡辺	0
3	舛屋	FP	畠中	7
3	関	FP	宇佐美	0
0	佐々木	FP	須原	1
2	飯田	FP	小島	1
3	藤野	FP	横山	0
		FP	伊藤	0
		FP	小林	9
16	(2)	PT	(3)	18

（審・蒲山、岡山）

中村荷役（東京）31（17-4、14-9）13 丸善石油松山（愛媛）

得	【中村】		【丸善】	得
0	飯塚	GK	塩田	0
0	高橋	GK		
0	飯田	FP	石川	1
1	坂口	FP	岡部	1
7	西窪	FP	谷	0
10	下戸成	FP	小笠原	2
1	辻	FP	伊藤	4
1	三尾	FP	佐々木	0
3	塚田	FP	北谷	2
1	永沢	FP	神野	3
2	岡部	FP		
5	窪田	FP		
31	(5)	PT	(2)	13

（審・島田、井手）

三景（東京）24（15-3、9-2）5 三和銀行（大阪）

得	【三和】		【三景】	得
0	菊池	GK	中村	0
		GK	野田	0
1	川島	FP	犬飼	4
0	大向	FP	田畑	3
0	田中	FP	奥村	1
1	佐伯	FP	藤山	6
0	坊内	FP	白倉	3
1	武谷	FP	岡部	3
0	後藤	FP	近藤	2
0	大塚	FP	大谷	2
0	吉川	FP		
2	乾	FP		
5	(0)	PT	(1)	24

（審・松尾、福田）

サンケミカル（岐阜）22（8-9、14-9）18 興亜石油（山口）

得	【興亜】		【サン】	得
0	松本	GK	堀田	0
		GK	小塚	0
4	藤田	FP	堀	6
0	中本	FP	倉田	4
0	長野	FP	栗田	5
4	松本	FP	鶴谷	4
3	高林	FP	安藤	0
4	松本	FP	長谷川	0
0	中村	FP	大橋	0
2	重田	FP	日下	0
0	陳野	FP	時田	3
0	大山	FP		
18	(0)	PT	(3)	22

（審・佐藤、井上）

新日鉄大分（大分）25（16-4、9-9）13 住友金属和歌山（和歌山）

得	【住金】		【大分】	得
0	相坂	GK	藤沢	0
0	中西	GK	財満	0
0	新家	FP	岡村	5
0	田中	FP	大杉	5
3	山崎	FP	吉田	3
3	河野	FP	安部	0
0	堀	FP	南	2
3	岡	FP	得丸	5
1	西岡	FP	麻生	5
3	寺西	FP	房前	0
0	羽場	FP	牧	0
13	(2)	PT	(0)	25

（審・大宮、阪本）

セントラル自動車（神奈川） 29（16－8、13－8）16 **徳山曹達（山口）**

得	【セント】		【徳山】	得
0	吉田	GK	藤本	0
0	根本	GK		
5	尾形	FP	山上	0
5	阿部	FP	前田	3
0	埜場	FP	中田	1
0	嶋	FP	中村	7
5	海老原	FP	藤村	0
9	谷中	FP	井上	0
1	日吉	FP	中村	5
3	茂垣	FP	中山	0
1	宮浦	FP	竹田津	0
		FP	磯崎	0

（審・佐藤、井上）

29 (4) PT (0) 16

金沢市役所（石川） 28（15－13、13－14）27 **三井石油化学（千葉）**

得	【三井】		【金沢】	得
0	渡辺	GK	藤井	0
0	杉弘	GK		
3	田中	FP	池村	3
0	安藤	FP	金森	0
2	佐藤	FP	橋本	9
11	森重	FP	酒井	6
4	村井	FP	中村	3
1	相田	FP	西田	6
5	中村	FP	西森	0
1	三村	FP	北野	1
0	岡村	FP	中納	0
0	西本	FP	大上	0

（審・松尾、福田）

27 (1) PT (2) 28

自衛隊呉（広島） 37（22－6、15－6）12 **日産石油化学（千葉）**

得	【呉】		【日産】	得
0	阪井	GK	酒井	0
0	須尭	GK	松崎	0
1	岩山	FP	板東	1
6	寿賀	FP	峯下	3
0	塩見	FP	上田	4
7	和田	FP	神山	2
4	西川	FP	鈴木	0
8	池田	FP	渡辺	0
4	村岡	FP	和田	0
4	利光	FP	寰毛	2
3	高橋	FP	阿部	0
		FP	毛呂	0

（審・奥村、堀之内）

37 (2) PT (2) 12

▽2回戦

日鉄建材 27（14－6、13－10）16 **武田薬品（光）**

得	【武田】		【日建】	得
0	清水	GK	蓑輪	0
		GK	川上	0
3	長棟	FP	若本	3
3	西野	FP	清原	1
0	杉山	FP	玉嶋	0
4	末長	FP	池辺	3
0	吉田	FP	古川	0
3	三宮	FP	外山	3
0	川本	FP	山口	7
1	酒井	FP	杉本	6
2	小川	FP	霜村	3
0	仁科	FP	中山	1

（審・森山、田原）

16 (2) PT (2) 27

本田技研熊本（熊本） 39（18－9、21－5）14 **自衛隊古河（茨城）**

得	【熊本】		【古河】	得
0	岩木	GK	竹原	0
0	森	GK		
2	田上	FP	富永	0
9	斉所	FP	網野	0
1	入江	FP	片田	3
4	松永	FP	佐藤	7
2	岩永	FP	片野	3
2	岡崎	FP	條本	1
11	佐伯	FP	坂本	0
3	中村	FP		
3	鯖江	FP		
2	畚田	FP		

（審・堀之内、奥村）

39 (2) PT (0) 14

神戸製鋼（兵庫） 18（8－5、10－8）13 **豊田自動織機（愛知）**

得	【自織】		【神鋼】	得
0	中村	GK	松原	0
0	永井	GK		
4	古田	FP	江口	1
3	諌山	FP	渡辺	0
0	平岩	FP	須藤	4
4	大城	FP	中尾	0
0	新田	FP	藤谷	0
0	遠藤	FP	河内	3
0	池田	FP	山崎	9
0	山内	FP	新谷	1
2	加古	FP		

（審・大宮、阪本）

13 (3) PT (1) 18

中村荷役 35（16－10、19－6）16 **豊田合成**

得	【合成】		【中村】	得
0	上條	GK	高橋	0
0	梅村	GK	末次	0
4	太田	FP	飯田	0
1	花井	FP	坂口	0
0	渡辺	FP	西窪	5
3	畠中	FP	下戸成	7
0	宇佐美	FP	辻	4
1	須原	FP	三尾	7
0	小島	FP	塚田	2
1	横山	FP	永沢	2
0	伊藤	FP	岡部	1
6	小林	FP	窪田	7

（審・松尾、福田）

16 (0) PT (6) 35

大阪ガス 28（18－9、10－7）16 **新日鉄名古屋**

得	【ガス】		【名古屋】	得
0	森	GK	岩上	0
0	福田	GK	河合	0
3	奥野	FP	平野	1
3	岩本	FP	阿久根	0
4	竹志	FP	不破	5
2	藤井	FP	蟹江	5
1	竹内	FP	大島	1
3	藤田	FP	戸次	1
1	新家谷	FP	上之薗	1
4	長田	FP	渡辺	1
6	中村	FP	各務	0
1	山崎	FP	伊藤	1

（審・蒲山、岡山）

28 (4) PT (0) 16

本田技研爽風会 29（11－13、14－12、4－2）27 **東京重機**

得	【重機】		【爽風会】	得
0	吉田	GK	三宅	0
0	衣笠	GK	松下	0
0	矢島	FP	山本	6
3	卯野	FP	山田	5
7	千葉	FP	小川	5
7	佐藤	FP	真砂	5
2	古屋敷	FP	東	0
3	鷹野	FP	船谷	4
5	高橋	FP	山下	0
1	奥山	FP	平子	4

（審・島田、井上）

27 (1) PT (5) 29

本田技研熊本 37（19－6、18－5）11 **神戸製鋼**

セントラル自動車 34（18－14、16－9）23 **金沢市役所**

得	【金沢】		【セン】	得
0	藤井	GK	吉田	0
		GK	佐藤	0
5	池村	FP	尾形	6
1	金森	FP	阿部	7
0	石野	FP	埜場	2
7	橋本	FP	嶋	3
1	中村	FP	海老原	5
3	西田	FP	谷中	9
0	西森	FP	日吉	0
1	北野	FP	茂垣	2
4	中納	FP	宮浦	0
0	大土	FP		

（審・佐藤、井上）

23 (0) PT (3) 24

新日鉄大分 37（19－14、18－8）22 **自衛隊呉**

得	【呉】		【大分】	得
0	阪井	GK	藤沢	0
0	須尭	GK	財満	0
2	岩山	FP	岡村	7
2	寿賀	FP	大杉	8
0	塩見	FP	吉田	2
3	和田	FP	安部	2
1	西川	FP	南	11
10	池田	FP	得丸	4
2	村岡	FP	麻生	1
2	利光	FP	房前	2
0	高橋	FP	牧	0

（審・大宮、阪本）

22 (0) PT (6) 37

三景 34（14－5、20－4）9 **サンケミカル**

得	【サン】		【三景】	得
0	堀田	GK	中村	0
0	小塚	GK	野田	0
4	堀	FP	大飼	5
0	倉田	FP	田畑	7
2	栗田	FP	奥村	2
2	鶴谷	FP	藤山	6
0	安藤	FP	白倉	1
0	長谷川	FP	岡部	1
0	大橋	FP	近藤	11
0	日下	FP	大谷	1
1	時田	FP		

（審・南、友寄）

9 (3) PT (3) 34

得	【熊本】		【神鋼】	得
0	岩木	GK	松原	0
0	森	GK		
6	田上	FP	江口	0
3	斉所	FP	渡辺	0
2	入江	FP	須藤	2
8	松永	FP	中尾	0
3	岩永	FP	藤谷	0
1	岡崎	FP	河内	3
6	佐伯	FP	山崎	4
4	中林	FP	新家	2
3	鯖江	FP		
1	益田	FP		
37	(6)	PT	(1)	11

（審・堀之内・奥村）

▽3回戦

日鉄建材 23（10 13／12 7）19 本田技研爽風会

中村荷役 20（9 11／9 10）19 大阪ガス

得	【爽風会】		【日建】	得
0	三宅	GK	蓑輪	0
0	松下	GK	川本	0
3	山本	FP	若本	4
3	山田	FP	素原	0
4	小川	FP	清原	0
5	真砂	FP	池辺	2
1	東	FP	古川	0
1	船谷	FP	外山	8
0	山下	FP	山口	3
2	平子	FP	杉本	4
		FP	霜村	1
		FP	中山	1
19	(4)	PT	(3)	23

（審・田原・森山）

得	【ガス】		【中村】	得
0	森	GK	飯塚	0
0	福田	GK	高橋	0
1	奥野	FP	飯田	0
4	岩本	FP	坂口	2
1	竹志	FP	西窪	4
1	藤井	FP	下戸成	7
1	竹内	FP	辻	1
2	藤田	FP	三屋	3
0	新家谷	FP	塚田	0
7	長田	FP	永沢	3
2	中村	FP	岡部	0
0	山崎	FP	窪田	0
19	(3)	PT	(1)	20

（審・島田・井手）

三景 29（16 13／12 10）22 新日鉄大分

本田技研熊本 27（15 12／13 9）22 セントラル自動車

得	【大分】		【三景】	得
0	藤沢	GK	中村	0
0	財満	GK	野田	0
3	岡村	FP	大飼	12
4	大杉	FP	田畑	8
1	吉田	FP	奥村	1
0	安部	FP	藤山	5
8	南	FP	白倉	0
3	得丸	FP	岡部	0
3	麻生	FP	近藤	1
0	房前	FP	大谷	0
0	牧	FP		
22	(6)	PT	(4)	29

（審・大宮・阪本）

得	【熊本】		【セン】	得
0	本田	GK	吉田	0
0	森	GK	佐藤	0
7	田上	FP	尾形	4
8	斉所	FP	阿部	6
0	入江	FP	笠場	0
2	松永	FP	嶋	1
0	岩永	FP	海老原	3
3	岡崎	FP	谷中	6
6	佐伯	FP	日吉	0
1	中村	FP	茂垣	2
0	鯖江	FP	宮浦	0
0	益田	FP		
27	(4)	PT	(2)	22

（審・南・友寄）

▽準決勝

日鉄建材 26（5 10 11／2 10 11）23 中村荷役

得	【中村】		【日建】	得
0	飯塚	GK	蓑輪	0
0	高橋	GK	川上	0
0	飯田	FP	若本	4
9	坂口	FP	素原	0
1	西窪	FP	清原	0
6	下戸成	FP	池辺	2
1	辻	FP	古川	0
5	三尾	FP	外山	8
0	塚田	FP	山口	5
1	永沢	FP	杉本	7
0	岡部	FP	霜村	0
0	窪田	FP	中山	0
23	(4)	PT	(3)	26

（審・南・友寄）

○…試合開始から5分間無得点が続き、5分過ぎに到って日鉄建材の杉本がようやく先取点をあげるが中村荷役もすかさず3点を連取して逆転。しかし、日鉄も盛りかえして1点を競う好ゲームとなり、結局前・後半とも全く同スコアで終了、延長戦にもつれ込んだ。延長戦に入って日鉄はGK蓑輪の好守とファイトに加え全員が一丸となり、スピードと若さで中村を振り切った。

本田技研熊本 25（15 10／5 10）15 三景

得	【熊本】		【三景】	得
0	岩木	GK	中村	0
0	森	GK	野田	0
4	田上	FP	大飼	5
7	斉所	FP	田畑	4
0	入江	FP	奥村	0
3	松永	FP	藤山	3
0	岩永	FP	白倉	1
1	岡崎	FP	岡部	0
6	佐伯	FP	近藤	2
4	中村	FP	大谷	0
0	鯖江	FP		
0	益田	FP		
25	(4)	PT	(2)	15

（審・田原・森山）

○…どちらも互いに譲らず1点の勝負となったが、後半10分過ぎに本田が一歩リードしてからは本田のリズムがかみ合い、田上がチームをよくまとめじりじりと点差を広げてやや一方的ゲームとなった。ディフェンスでは岡崎が三景の大飼をマークし、攻撃では中村のサイドからのシュートが光った。

▽3位決定戦

三景 24（13 11／11 7）18 中村荷役

○…三景GK中村の再々にわたる巧守の前に中村荷役は波に乗れず単調な攻めに終り、三景4点リードで折り返した。後半は、三景キャプテン大飼の好リードで着実に加点し勝利をものにした。中村荷役は徐々にリズムを取り戻し、逆転のチャンスをまたしてもGK中村に阻まれ惜しい試合であった。

得	【三景】		【中村】	得
0	中村	GK	飯塚	0
0	野田	GK	末次	0
3	大飼	FP	飯田	0
8	田畑	FP	坂口	3
6	奥村	FP	西窪	4
1	藤山	FP	下戸成	5
1	白倉	FP	辻	0
0	岡部	FP	三尾	5
5	近藤	FP	塚田	0
0	大谷	FP	永沢	0
		FP	岡部	0
		FP	窪田	1
24	(2)	PT	(4)	18

（審・大宮・阪本）

▽決勝

日鉄建材 27（12 15／8 14）22 本田技研熊本

得	【熊本】		【日建】	得
0	岩木	GK	蓑輪	0
0	森	GK	川上	0
5	田上	FP	若本	2
6	斉所	FP	素原	0
0	入江	FP	池辺	0
1	松永	FP	古川	4
0	岩永	FP	外山	0
0	岡崎	FP	山口	4
7	佐伯	FP	杉本	6
3	中村	FP	霜村	8
0	鯖江	FP	中山	3
0	益田	FP		
22	(5)	PT	(1)	27

（審・福田・松尾）

○…前半日鉄建材は速攻を中心に山口のロングシュートなどで好スタートを切った。一方、本田技研熊本もプレーイングマネージャー田上の好アシストで加点し、よく日鉄に食い下がり15－14で折り返す。後半に入っても白熱のゲームを展開したが、日鉄GK蓑輪の再々にわたる巧守と最後まで走り抜いた走力で、若い日鉄が栄冠を手にした。

昭和58年度公認ハンドボールコーチ研修会報告

第2報 イオン・クンスト(ルーマニア)のハンドボール

表題研修会での研修内容を先号より連載していますが、今回から講習の内容をできるだけ忠実に述べたく思います。ただ、理解を助けたり、内容のくり返しをふせぐために、言葉を加えたり、省略したりすることをお許しいただきたい。



右からクンスト氏、通訳の鈴木さん
マレーシア文武省のタン氏

日本のハンドボール関係の皆様方、24年ぶりに日本に呼んでいただき、大変喜んでいます。私は1960年に初めて日本を訪れました。その時、ルーマニアハンドボールチームの監督でした。北海道や松島などで、いろんなチームと試合し、いろんな方々とお会いしました。それから24年たちましたが、ルーマニアと日本は、プレーヤーが交流するなど、友好関係を育てて来ました。女子や男子のハンドボールチームが何回かルーマニアを訪れ、ルーマニアのやり方や技術など見る機会があったことと思います。しかし、一番大切なことは、日本人や外国の人々と何回か会ってだんだん友達になっていくことです。昨日試合を見にいって、(日本リーグ、東京都体育館)大変嬉しかったことは、たくさんの方々が、私のことを知っていて挨拶をしてくれたことです。スポーツをしている人は、あちらこちらの国々で、だんだんと友達になっていきます。

さて、自己紹介をします。

1942年、私は17歳の時初めてハンドボールのゲームをやりました。その時は、もちろん11人制でした。1944~1948年まで、体育大学に行きました。その後、1948年から1952年まで軍隊に行きました。

1952年から大学の先生になりその後、重要な仕事を続け、今大学で最も高い地位にあります。あと4年間、その役職をやらなくてはなりません。軍隊に行った1952年からナショナルチームに関係するようになり、総監督にまでなりました。

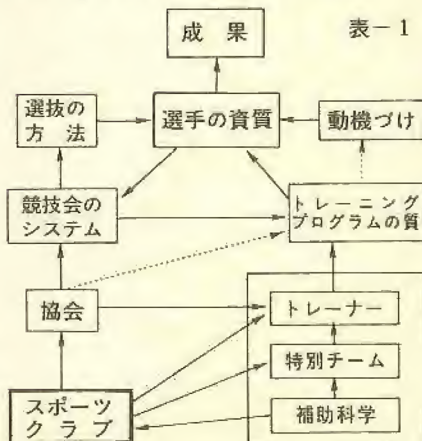
1949年から1967年まで、軍隊のクラブであるスターの監督でした。そこからナショナルチームに優秀な選手をたくさん送りました。1953年、ナショナルチームの監督になり、1982年が最後の監督であり、世界選手権は5位でした。

1982年まで、うれしいことややっかいなことがいろいろありましたが、やはり一番むつかしいのは、教えることでした。

1962年、I・H・Fのメンバーになり、現在T・M・K(トレーナー・手法委員会)の委員長をしています。

監督をしていて、最も手助けをよくしてくれたのはネデフでした。1961、1964、1970、1974年に世界選手権で1位でした。1967年は3位、1978年は7位でした。この時は、かなしくてとても泣きました。1976年のモントリオール・オリンピックでは2位、1972年のミュンヘンでは3位、1982年のモスクワでは3位、さて1984年のロスでは何位になるでしょうか？ 1位になると思います。

表−1



監督は、大変楽しいものでした。また生まれかわったとしても同じことをやりたいです。大学で先生をやりながらいろいろなチームを教えて来ましたが、技術や戦術など、全てのことをプレーヤー達と考え、練習して強くなりました。そして、ルーマニアのナショナルチームも皆で一生懸命に努力し、練習して何回も世界一になりました。

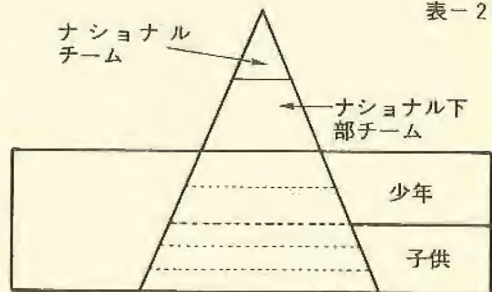
たくさんの本を書きました。雑誌にも書きました。フランス語、スペイン語、英語、独語の本も書

きました。大変嬉しいことに、日本でも私の本が出ました。みんなどのくらいわかってくれたでしょうか。ルーマニアではよい本なのですが。(ベースボール・マガジン社刊「ハンドボールの技術と戦法」)。

今回、日本で行なわれる講習会を他の国でもやりました。ブラジル、アルゼンチン、カナダ、アメリカ、西独、スイス、ユーゴ、ブルガリア、スペイン、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク。

いつもよく皆さんがルーマニアはすごいとか頭がいいと言っていますが、そんなことありません。たくさんの人がルーマニアにハンドボールを学びに来られますが、私達は一生懸命頑張っているだけで、皆と同じことをしているだけです。昨日タクシーに乗ってゲームを見に行きましたが、皆よくハンドボールを知っています。ブラジルと日本と大変違うことがあります。ブラジルに行った時は、監督やコーチが100人くらい来ましたが、そのうちの60人くらいは一度もハンドボールを見たことがありませんでした。ここに来ておられる人は、皆ハンドボールに大変詳しく、偉い人ばかりです。私は、ルーマニアの考え方を教えただけです。もちろん、自分の考え方や技術、戦術に特別なものを持っていません。

表－2



一番間違いやすいのは、ルーマニアのプレーヤーが日本と同じことをしてもうまくいかないのと同じように、日本人がルーマニアと同じことをしてもうまくいきません。それは、日本人はルーマニア人ではないからです。また、大変間違いやすいのは、ユーゴとかソ連とか外国のものをコピーすることです。これは一番よくありません。どこの国でも監督の皆さんが一番よく、自分のプレーヤーがどのくらいまでやれるかを知っています。もし見失なってもマイペースを守っていくだけです。最もよい方法は、チームが試合する時に、一番よいところを見て、練習する時にそれを生かすことです。

今から、これまでにあったことを話します。私は10年前、西独のフライブルグで、インターナショナルスクールでハンドボールを教えました。その時、西ドイツのコーチが、私に聞きました。「1週間に2回しか練習しないのだけど、どんな練習をしたらいいのですか」

私は答えました。「知りません」

今まで私は1週間に2回しか練習しないことはありません。――わかりますか――1週間で2回ではうまくなりません。毎日毎日練習しなくてはなりません。

「強くなりたければ毎日練習すればいいですよ」と言うと、西独のコーチは大変怒りました。大変怒ったけれど、2回しか練習しないチームが強くなるはずありません。

それでは今からルーマニアのハンドボールのやり方を教えます。

1専門的（プロ）ハンドボールチームと底辺のハンドボール

ルーマニアでは、ハンドボールのゲームは誰でもすることができます。子供から若者、もちろん年寄りまで。そして、そこから一つの専門的なチームをつくります。専門的（プロ）にハンドボールをやる人は金メダルをねらいます。底辺のハンドボールは、中学から大学まで、勉強している人が、自由時間にやったりします。また、働いている人が休み時間にやったりします。

底辺のハンドボールは、協会では面倒をみませんが、プロになった人は協会で面倒をみます。

2専門的ハンドボールを育てるためには（表1）

では専門的なハンドボールを育てるための基本についてお話しします。

一番基本的なのは、プレーヤーを育てるコーチです。もちろん、プレーヤーが練習をして、技術、体力、精神面に秀れたものを持つことはもっと大切なことです。

コーチは、資質の高いプレーヤーを選ばなくてはなりません。そして、選んだ時、何故やるのか、また、遊ぶだけじゃなく一生懸命やるようにしなければなりません（動機づけ）。

私はバイオリンをやりたかった。しかし、ハンドボールがとっても好きでした。私がハンドボールをやっていたために、世界一のバイオリニストが生まれませんでした。

いいプレーヤーを持っているだけでは足りず、トレーニングする時、一番いい方法をとらなくてはなりません。練習を何回も何回もやればいいプレーヤーが育ちますが、これだけでも足りません。試合を国内外でやらなくてはなりま

せん。コーチと監督は、いいプレーヤーを選抜することが最も大切なことです。もちろん、監督は練習もするし、いいプレーヤーを選ばなくてはなりません。監督は何故あの人はハンドボールをやりたいのか（動機づけの方法）を一番わかっています。

ハンドボール協会は、試合をどこで誰とやればいいかわかっています。もしテニスみたいにハンドボールでも試合に勝てない時は、試合がなくひまになってしまい1年待っていなければなりません。そのような時、ハンドボールのコーチは大切で、直接協会からトレーニングをさせます。また、間接的にもトレーニングをさせます。

そして、もう一つ大切なのは、スポーツクラブです。

ハンドボールをする時、専門的な科学――バイオロジーやフィジオロジーなど――を知らなくてはなりません。監督は、科学的なもの全部を知ることができませんので、知っている人を起用します。（特別チーム）。

ハンドボールの監督は、3人です。1人は第1監督、次は第2監督、そしてGKの監督です。

特別チームには、医者が1人。この医者は、ハンドボールだけの医者をやります。次にビデオ等記録をとる人が1人。この人は試合に行ってビデオをとり、あとどんなやり方で試合をするのがいいか考えます。この先生はチームにいつもいません。次にマッサージをやる人です。この他に、大学の先生方も勉強していてよいチームをつくる方法を考えています。

3プレーヤーに求められる基本

基本的なものが三つあります。

一つは身体的条件。次は、体力で、動きは速いか、ジャンプ力があるかどうかということです。最後は精神的条件で、モラルとか冷静かとかというようなことですが、また、プレーヤーはどうしても勝つことを考えなければならず、頭のいいことが必要です。

今から見せるものは、ルーマニアハンドボールのモデルです。

4専門家を育てるための少年と子供の育成法

A　このピラミッド（表2）は、ハンドボールの専門家と底辺の少年、子供の関係を示しています。

下は大へん多くの人がいますが、だんだん少なくなっていきます。

B　表3は、子供と少年のピラミッドです。

少年は14歳から18歳までですが、そのプレーヤーは子供の中から選びます。最後に、専門家をつくるまで、10歳から選んでいきます。



子供の部では、10歳～12歳の層では、初めてハンドボールをする人達で、その中からいい素質を持ったプレーヤーを選び12～14歳の層でやらせます。そこでは、子供達はハンドボールのやり方をいくらか知っています。その中から、また素質のいいプレーヤーを選んで、その上の層に入れます。14歳までの子供達はゆっくりと教えます。

12～14歳までのプレーヤーで、よく学び技術をもっている子供達を選んで14～16歳の層に入れます。そして、16～18歳の層では、一番いいプレーヤーが入っています。

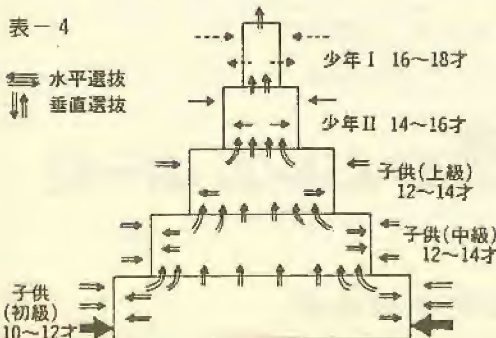
試合のやり方はよくわかっており、国内で試合をやっています。

C　表4は、表3のピラミッドで、子供が下から上までどんな動き方をするのかを示しています。

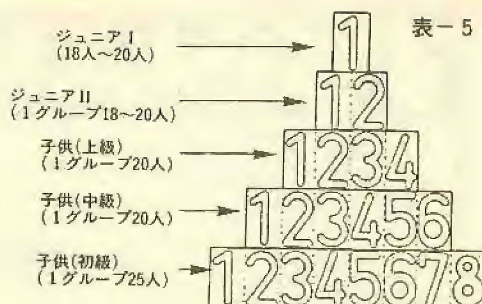
ルーマニアの選抜は、水平選抜と垂直選抜とがあります。

学校の中で、いいプレーヤーがいたら、一番下の層に入れます。それが終ったら一番いい選手から上へ上へと上がっていきます。そして、ハンドボールの素質のない人はここから出て底辺のハンドボールに入り時々やればいいのです。もちろん、子供は精神的によくなくかわいそうだけれど、背が低いとか、スピードがない子供は選ぶことができません。やはりプロになるまで、どこでもチームはお金がかかります。歌手と同じで、お金だけ出して、声もよくなく歌えなければ、もったいない。選ぶに際して、あっちこっちに学校のチームがあるので、皆見ることができません。だから14歳の時試合を見て上手な人がいれば、14歳からでも入れることができます。その後は最初と一緒で、いいプレーヤーならどんどん上に上がります。下にはたくさん入るけれどだんだん少なくなります。一番上のチームには特別な人が入ります。そのようなことはたまにあります。時々いなかに天才がいます。天才の子供は下からいかなくても、16～18歳のところに特別に入ります。下から上の方に子供を選べますが、身体的、精神的、体力的に恵まれている人は途中からでも入ることができます。

ルーマニアの中に天才がいました。グレアです。初めバレーボールをやっていた選手です。バレーボールは上手ではありませんでした。私は偶然、彼がシュートをするのを見ました。技術は全然なく乱暴なシュートでした。でもそのシュートは、技術がなくても、とても力がありました。爆発の音がしました。私は言いました。「もう1回やって下さい」ものすごい手の力をしていました。身体的条件もとてもよく、191㎝ありました。腕も長く、手も大きく、ジャンプ力も非常にありました。「ハンドボールのチームに入らないか。ナショナルチームにすぐに入れてあげます」と言うと、彼は「私は



表－5



バレーボールがやりたい」と言った。バレーボールのコーチと私は一度喧嘩をしました。そして、私のところに来ました。「ハンドボールチームに入りたい」。1963年1月にチームに入り、10月にはナショナルチームと試合をしました。1964年、チェコに行って試合をしました。だから、天才の人は下から始まらなくても遅くても大丈夫です。

D　スポーツクラブ

子供達はスポーツクラブで練習をします。子供達のいる学校は、スポーツクラブ（学校ではなく地域に）を持っています。スポーツクラブは、大きな町にしかありません。いなかにはありません。その町に住んでいる人や近くに住んでいる人、また、学校の子供たちはクラブを選びます。ルーマニアには、100のスポーツクラブがあります。もちろん大きいのから小さいものまでありますが、ブカレストには大きいクラブが3つあります。そのクラブは、プロだけれど子供のクラブも持っています。

これからルーマニアのスポーツクラブのやり方を教えます。

表5がその方法です。10～12歳までの初級では、初めてハンドボールをやる人が入りますが、だいたい7～8のグループで、1つのグループは25人です。12～14歳では少なくなりますが、5～6のグループで、1グループ20人くらい入ります。もっと上に行きますと4グループしかなく、1グループが20人です。そして、上に行きますと2グループと1グループで、18～20人になります。一番上のグループがベストチームです。

下の層では、子供だから監督とかコーチはいません。体育の先生が教え、1人で3グループ教えています。下の層では、1週間に3回、2時間の練習をします。ベストチームは、監督、コーチがいて、1週間に5回練習します。ベストチームを教える先生は、下のグループを1日教えます。上のチームも下のグループも日曜日はいつも試合をします。コーチや監督は国からお金をもらいます。

5プレーヤーの条件

A　身体的条件

ルーマニアでは考えました。プロになるためにはどうしたらよいか。そしてモデルを作ってみました。私達は、基本的な身体的条件を7つ選びました。

①身長、②体重、③（身長－100）÷体重、④掌の大きさ、⑤リーチ、⑥肩幅、⑦腰幅。

5年間ルーマニアの男女チームを計り、統計処理して、表6のモデルができました。もちろんこれだけでプレーヤーは選べません。腕囲、座高等いろいろなものが必要ですが、その中から7つの基本的なものを選びました。この表は、サッカーやボートをやっている人には用いず、ハンドボールだけのものです。

ハンドボールプレーヤーの身体的適性

（表6）

測定項目	ポジション									
	ゴールキーパー		サイド		ポスト		45度		センター	
	最適値	許容値	最適値	許容値	最適値	許容値	最適値	許容値	最適値	許容値
1．身長（cm）	187	184～194	183	180～187	184	181～188	191	186～196	185	183～188
2．体重（kg）	82	80～88	79	76～82	84	81～88	86	81～91	81	79～84
3．係数 $\frac{身長-100}{体重}$	1.06	1.05～1.06	1.05	1.05	1.00	1.00	1.06	1.06	1.05	1.05
4．掌の大きさ（cm）	24	23	24	22	24	23	25	24	24	23
5．リーチ（cm）	198	195～205	194	190～198	188	185～192	202	197～207	196	194～199
6．肩幅（cm）	42	41	41	40	43	42	43	42	42	41
7．腰幅（cm）	34	32～35	34	32～35	34	32～35	35	34～37	34	33～35

各地の記録

●第27回京都府高校新人大会（11月3日～27日）

〈男子〉

▽予選リーグ

○Aゾーン
西宇治 10－6 城陽
東山 20－11 日吉丘
東山 24－5 宇治
西宇治 16－8 日吉丘
東山 17－8 城陽
日吉丘 25－9 宇治
城陽 17－4 宇治
東山 16－6 西宇治
城陽 7－7 日吉丘
西宇治 19－9 宇治

○Bゾーン
洛星 17－8 桃山
京都西 15－14 城南
北嵯峨 27－12 城南
桃山 13－12 京都西
洛星 23－10 城南
北嵯峨 18－10 京都西
洛星 15－15 北嵯峨
洛星 13－11 京都西
桃山 9－9 城南
北嵯峨 14－10 桃山

○Cゾーン
洛水 26－7 同志社
洛西 18－13 平安
平安 11－7 洛東
同志社 19－18 平安
洛西 13－7 洛東
洛東 15－9 同志社
洛水 15－8 洛西
洛西 12－10 同志社
洛水 17－9 平安
洛水 24－6 洛東

○Dゾーン
向陽 14－11 舞鶴工専
伏見工 16－11 京都商
伏見工 19－11 洛陽工
向陽 12－9 伏見工
京都商 13－13 洛陽工
向陽 16－9 洛陽工
舞鶴工専 11－5 京都商
舞鶴工専 10－9 伏見工
向陽 12－6 京都商
舞鶴工専 16－10 洛陽工

○Eゾーン
堀川 10－9 洛北
東宇治 15－13 大谷
大谷 21－9 洛北
東宇治 18－8 嵯峨野
東宇治 25－10 堀川
大谷 19－17 嵯峨野
嵯峨野 13－7 堀川
東宇治 24－6 洛北
嵯峨野 16－11 洛北

○Fゾーン
塔南 14－13 田辺
鴨沂 10－6 桂
塔南 12－0 鴨沂
乙訓 22－6 桂
田辺 11－6 桂
乙訓 16－4 鴨沂
乙訓 14－4 田辺
鴨沂 12－8 田辺
塔南 12－10 桂
乙訓 11－10 塔南

▽準決勝リーグ

○Gゾーン
東宇治 20－11 北嵯峨
向陽 10－7 北嵯峨
東宇治 19－7 向陽

○Hゾーン
東山 27－4 乙訓
洛水 8－8 乙訓
東山 15－11 洛水

▽準決勝
東宇治 20（11－5, 9－4）9 洛水
東山 25（16－4, 9－5）9 向陽

▽決勝
東宇治 24（10－11, 10－9, 1－1, 3－2）23 東山

〈女子〉

▽予選リーグ

○アゾーン
京都女 28－3 洛北
乙訓 18－5 西宇治
北嵯峨 11－8 西宇治
乙訓 16－3 洛北
京都女 25－3 西宇治
乙訓 12－2 北嵯峨
洛北 11－10 西宇治
京都女 13－3 北嵯峨
北嵯峨 6－2 洛北
京都女 15－9 乙訓

○イゾーン
桃山 12－3 精華
嵯峨野 10－3 塔南
塔南 17－4 精華
嵯峨野 14－10 桃山
桃山 15－9 塔南
嵯峨野 16－5 精華

○ウゾーン
東宇治 25－14 光華
城南 12－5 洛東
光華 21－6 洛東
東宇治 27－10 城南
光華 23－15 城南
東宇治 46－0 洛東

○エゾーン
久御山 20－4 田辺
向陽 13－13 城陽
久御山 8－4 城陽
向陽 27－3 田辺
城陽 8－1 田辺
向陽 12－4 久御山

○オゾーン
東稜 25－2 鴨沂
明徳商 22－7 桂
東稜 17－5 桂
明徳商 30－4 鴨沂
鴨沂 9－2 桂
明徳商 13－6 東稜

○カゾーン

西京商 14-3 西山
洛水 25-5 洛西
西山 9-6 洛水
西京商 17-3 洛西
西京商 5-3 洛水
西山 13-2 洛西

▽準決勝リーグ

○キゾーン
東宇治 23-7 西京商
嵯峨野 9-5 西京商
東宇治 19-5 嵯峨野

○クゾーン
向陽 15-5 明徳商
向陽 9-9 京都女
京都女 18-10 明徳商

▽準決勝
東宇治 13（7-5 6-7）12 京都女
嵯峨野 7（4-3 3-3）6 向陽

▽決勝
東宇治 19（10-3 9-4）7 嵯峨野

●秋田県高校新人大会

（11月5、6日）

〈男子〉

▽1回戦
大曲 21-15 横手
大曲農 20-13 稲川
羽後 32-8 秋南

▽準決勝
大曲 19（10-9 9-9）18 湯沢
大曲農 20（9-6 11-7）13 羽後

▽3位決定戦
湯沢 16（8-7 8-8）15 羽後

▽決勝
大曲農 21（9-11 12-6）17 大曲

〈女子〉

▽1回戦
横手東 14-8 大曲

▽準決勝
和洋 8（4-4 4-2）6 湯沢
大曲農 27（15-4 12-3）7 横手東

▽3位決定戦
湯沢 11（5-4 6-2）6 横手東

▽決勝
大曲農 16（11-3 5-0）3 和洋

●佐賀県高校新人大会兼選抜県予選

（11月6、13日）

▽男子リーグ戦
神埼高 24-6 佐賀西
佐賀農高 21-7 佐賀東
神埼高 26-16 佐賀農
神埼農高 24-7 佐賀東
佐賀農高 19-13 佐賀西
佐賀東高 13-12 佐賀西
神埼農高 21-13 佐賀農
神埼高 32-6 佐賀東
神埼農高 19-8 佐賀西
神埼農高 19-10 神埼高

［順位］①神埼農高②神埼高③佐賀農高④佐賀東高⑤佐賀西高

▽女子リーグ戦
佐賀東高 7-6 嬉野商高
佐賀女 15-3 佐賀東高
佐賀女 16-8 神埼農高
神埼農高 12-2 嬉野商高
神埼農高 17-5 神埼高
神埼高 10-7 佐賀東高
佐賀女 22-2 神埼高
神埼農高 14-4 佐賀東高
佐賀女 17-3 嬉野商高
嬉野商高 9-7 神埼高

［順位］①佐賀女子高②神埼農高③嬉野商高④佐賀東高⑤神埼高

●第27回岩手県高校新人大会

（11月12～14日）

〈男子〉

▽1回戦
岩手 21-17 水沢
一戸 24-12 岩手橘
盛岡商 24-10 一関一
福岡 23-10 生活学園

▽2回戦
花巻北 24-12 岩手
花巻農 35-5 盛岡南
釜石南 23-15 盛岡三
盛岡四 34-13 一戸
宮古 17-14 盛岡商
大迫 30-18 久慈
一関工 20-10 福岡工
盛岡一 22-14 福岡

▽準々決勝
花巻北 22-13 花巻農
盛岡四 26-20 釜石南
大迫 26-25 宮古
盛岡一 27-16 一関工

▽準決勝
花巻北 26（8-8 18-12）20 盛岡四
盛岡一 23（9-6 14-10）16 大迫

▽決勝
盛岡一 27（12-9 15-11）20 花巻北

〈女子〉

▽1回戦
向中野学園 8-6 久慈山形
黒沢尻南 8-5 宮古

▽2回戦
花巻南 13-1 向中野学園
白百合学園 10-7 水沢
釜石南 13-8 盛岡三
平舘 7-4 釜石商
花巻北 28-5 大原商
盛岡南 10-2 一戸
花巻農 12-7 岩手女子
盛岡二 15-7 黒沢尻南

▽準々決勝
花巻南 17-2 白百合学園
釜石南 10-8 平舘
花巻北 31-4 盛岡南
盛岡二 20-7 花巻農

▽準決勝

釜石南 10（4−2、6−2）4 花巻南
盛岡二 15（8−4、7−6）10 花巻北
▽決勝
盛岡二 16（2−2、2−1、6−6、6−6）15 釜石南

● 第26回岩手県総合選手権
（12月23〜25日）
〈男子〉
▽1回戦
白堊クラブ 27−13 釜石南高
花巻送球会 25−20 盛岡四高
盛岡商友会 36−18 花巻北高
岩手教員ク 25−10 花巻農高
岩手フェザント 29−13 一関工高
冨手スポーツ 25−23 大迫高
岩手大 23−13 盛岡一高
花巻クラブ 42−18 宮古高
▽準々決勝
白堊クラブ 24−17 花巻送球会
岩手教員ク 22−19 盛岡商友会
岩手フェザント 33−13 冨手スポーツ
花巻クラブ 29−20 岩手大
▽準決勝
白堊クラブ 26（13−9、13−5）14 岩手教員クラブ
花巻クラブ 26（16−8、10−9）17 岩手フェザント
▽決勝
花巻クラブ 20（8−8、12−9）17 白堊クラブ
〈女子〉
▽1回戦
花巻クラブ 12−6 盛岡三高
岩手大 13−8 花巻北高
▽準々決勝
白梅三英芙会 16−5 花巻クラブ
花巻南高 16−6 釜石南高
盛岡二高 19−10 平舘高
岩手桐花ク 11−9 岩手大
▽準決勝
白梅三英芙会 18（6−6、12−6）12 花巻南高
岩手桐花クラブ 17（6−7、11−3）10 盛岡二高
▽決勝
岩手桐花クラブ 9（5−3、4−2）5 白梅三英芙会

● 第33回青森県高校秋季選手権
（11月19、20日）
〈男子〉
▽1回戦
青森南 14−6 鰺ケ沢
柏木農 28−16 野辺地工
青森商 27−9 野辺地横浜分
三本木 42−7 弘前南
七戸 26−13 青森
▽2回戦
野辺地 20−8 青森南
青森商 33−20 柏木農
青森東 24−22 三本木
七戸 24−15 五所川原
▽準決勝
野辺地 20（11−5、9−4）9 青森商
七戸 23（11−6、12−13）19 青森東
▽決勝
野辺地 17（10−5、7−8）13 七戸
〈女子〉
▽1回戦
七戸 13−11 青森商
青森東 18−13 三本木
野辺地 15−7 青森中央
▽準決勝
青森西 22（7−2、15−6）8 七戸
野辺地 23（11−2、12−4）6 青森東
▽3位決定戦
七戸 20（9−2、11−2）4 青森東
▽決勝
青森西 10（7−4、3−5）9 野辺地

● 第2回関西医科歯科学生秋期リーグ
（11月6、13、20日）
大阪歯大 12−9 大阪大歯
京都大医 14−5 滋賀医大
和歌山県医大 17−13 京都府医大
大阪医大 18−11 大阪大歯
京都府医大 13−11 滋賀医大
和歌山県医大 20−14 大阪医大
京都府医大 20−12 大阪歯大
大阪歯大 18−8 滋賀医大
和歌山県医大 19−11 大阪大歯
京都府医大 13−13 京都大医
大阪大歯 26−14 大阪医大
和歌山県医大 25−11 滋賀医大
京都大医 17−14 大阪大歯
大阪歯大 16−14 京都府医大
大阪大歯 16−7 滋賀医大
京都大医 13−11 大阪医大
和歌山県医大 18−14 大阪歯大
京都府医大 17−8 大阪大歯
大阪医大 23−10 滋賀医大
和歌山県医大 28−14 京都大医
［順位］①和歌山県医大②大阪歯大③京都府医大④京都大医⑤大阪医大⑥大阪大歯⑦滋賀医大

● 第10回北信越学生選手権
（11月12、13日）
▽1回戦
金沢大 29−10 金沢美大
金沢工大 21−16 福井大
▽準決勝
金沢大 23−20 金沢工大
富山大 24−17 新潟大
▽決勝
金沢大 20（10−12、10−7）19 富山大

● 愛媛県高校新人大会
（11月19、20日）
〈男子〉
▽1回戦
松山東 25−9 新居浜西
新居浜工 23−16 松山工

新田 27－7 新居浜東
松山南 12－5 今治南

▽2回戦
松山北 26－13 松山東
新居浜工 16－6 宇和島南
松山西 23－19 新田
今治西 15－11 松山南

▽準決勝
松山北 19（8－4、11－6）10 新居浜工
松山西 13（8－7、5－5）12 今治西

▽決勝
松山北 14（7－8、7－5）13 松山西

〈女子〉
▽1回戦
伊予農 23－7 土居
大島 12－10 三崎
新居浜商 12－3 松山西
松北中島 19－6 新居浜東

▽2回戦
松山北 18－5 伊予農
今治南 23－6 松北中島
大島 11－4 東温
今治北 9－3 新居浜商

▽準決勝
今治南 14（6－2、8－2）4 松山北
今治北 14（9－1、5－0）1 大島

▽決勝
今治南 11（5－4、6－5）9 今治北

第23回秋田県総合選手権

（11月28～30日）

〈男子〉
▽1回戦
平和自ク 30－14 大曲農OB
羽後高 21－13 大曲ク
秋田ク 29－21 秋南ク
大曲高 28－10 農短大
大曲農高 27－10 高専

▽2回戦
湯沢ク 40－19 平和自ク
羽後高 25－11 秋田ク
大曲高 30－17 秋田大
湯沢高 25－22 大曲農高

▽準決勝
湯沢ク 37（18－7、19－9）16 羽後高
湯沢高 29（16－9、13－4）13 大曲高

▽3位決定戦
羽後高 18（9－6、9－8）14 大曲高

▽決勝
湯沢ク 31（17－12、14－15）27 湯沢高

〈女子〉
▽1回戦
湯沢高 10－9 横手東高

▽準決勝
大曲農高 14（6－0、8－1）1 湯沢高
和洋高 24（10－3、14－4）7 大曲高

▽三位決定戦
湯沢高 8（3－3、5－3）6 大曲高

▽決勝
大曲農高 13（6－5、7－2）7 和洋高

●長野県高校新人大会

（12月3、4日）

〈男子〉
▽1回戦
野沢南 26－5 臼田
野沢北 16－12 坂城

▽2回戦
野沢南 16－10 屋代
小諸 27－7 蟻ヶ崎
北佐久農 12－11 美須々ヶ丘
上田 23－4 野沢北

▽準決勝
小諸 10（4－3、6－6）9 野沢南
上田 20（13－1、7－2）3 北佐久農

▽決勝
上田 25（10－4、15－3）7 小諸

〈女子〉
▽1回戦
佐久 18－3 美須々ヶ丘
屋代 24－4 北佐久農
塩尻 16－5 臼田
小諸商 7－4 蟻ヶ崎

▽準決勝
佐久 9（5－2、4－2）4 屋代
塩尻 8（3－3、5－2）5 小諸商

▽決勝
佐久 13（7－3、6－3）6 塩尻

●全国高校選抜滋賀県予選

（1月6、7日）

〈男子〉
▽1回戦
高島 20－8 彦根西
彦根工 14－13 八幡工
米原 19－8 安曇川
彦根東 18－7 能登川

▽準決勝
高島 22（8－5、14－3）8 彦根工
彦根東 22（13－4、9－8）12 米原

▽決勝
高島 27（12－10、15－15）25 彦根東

〈女子〉
▽1回戦
高島 19－6 安曇川

▽2回戦
彦根東 11－8 能登川
守山女 39－1 長浜商工
愛知 19－2 米原

▽準決勝
彦根南 20（9－2、11－3）5 彦根東
愛知 15（8－4、7－4）8 守山女

▽決勝
彦根南 18（8－2、10－4）6 愛知

昭和59年度（財）日本体育協会公認ハンドボール
コーチ養成専門教科講習会実施要項

1．目　　的

ハンドボール競技の正しい普及と競技力の向上をはかるため、「㈶日本体育協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、全国各地でスポーツ活動を実践しているクラブやチームを対象に、スポーツ技術の専門的指導と活動組織の育成にあたる者の養成を目的に講習会を実施する。

2．主　　催

㈶日本体育協会。㈶日本ハンドボール協会

3．後　　援

文部省。都道府県体育協会。都道府県教育委員会

4．期　　日

昭和60年2月9日（土）10日（日）11日（祝日）
12日（火）13日（水）14（木）

5．会場・宿舎

国立オリンピック記念青少年総合センター

交通：新宿駅から小田急線乗車、「参宮橋駅」下車、徒歩3分

6．参加資格

公認コーチ養成コースの参加資格に同じ

7．参加人員

40名程度

8．申し込締切

昭和59年4月10日

9．参加者に対する補助

期間中の宿泊費は原則として全額補助を行う。

10．参　加　料

8,000円

11．教科内容

別紙は昭和57年度に実施したものですが、昭和59年度については追って協議の上決定致します。

12．携行物件

筆記用具、運動服上・下、シューズ

13．連　絡　先

〒351

☎0484－65－5111内線572

埼玉県和光市広沢1－20

自衛隊体育学校第1教育課体育班

本　田　娟　一

● コーチ養成講習会時間割

時限	時間	第1日（2月8日）	第2日（2月9日）	第3日（2月10日）	第4日（2月11日）	第5日（2月12日）	第6日（2月13日）
1	8：30 10：		5．競技規則	9．他競技のコーチ論	14．ハンドボールの傷害と処置及び予防策	17．他競技のコーチ論	テスト
2	10：20 11：50	受　付 10： 開講式 10：40 1．理事長	6．審判法	10．ハンドボール科学（走・跳・投）		18．ゲームのみかたとその評価	テスト
3	13： 15：20	2．世界の技術と戦術	7．技術・戦術指導法	11．体力トレーニングハンドボール	15．技術・戦術・指導法	19．個人戦術（実技）	閉講式
4	15：20 16：50	3．ハンドボールの歴史		12．西独の指導法			
5	19： 20：30	4．研究討論	8．世界のハンドボール情勢	13．研究討論	16．他競技のコーチ論	20．研究討論	

3月～5月のハンドボールイベント

★の試合は賛助会員は無料で見られます。

3月24日(土)～28日(火)	昭和58年度全国高等学校ハンドボール選抜大会 参加チーム男・女各25チーム	愛知県体育館

ジャパンカップ'84

	男子		女子	
4月21日(土)	大阪市中央体育館	★(湧永製薬)＊スウェーデン		
4月22日(日)	愛知県体育館 生駒市体育館	★(大同特殊鋼)＊ユーゴスラビア ★(奈良選抜)＊スウェーデン		
4月23日(月)				
4月24日(火)	横浜文化体育館	★全日本＊ユーゴスラビア		
4月25日(水)	呉市	★(日新製鋼)＊スウェーデン	(栃木市)	★(日立栃木)＊USA
4月26日(木)				
4月27日(金)	東京体育館	★ユーゴスラビア＊スウェーデン	(同左)	★全日本＊USA
4月28日(土)	東京体育館	★全日本＊スウェーデン	(同左)	★(大崎電気)＊USA
4月29日(日)				
4月30日(火)	浦和市民体育館	★(日本学生選抜)＊ユーゴスラビア	(岩井市)	★(日本ビクター)＊USA
5月2日(木)			(東京)	★(日本学生選抜)＊USA

スポーツフェア'84ハンドボール関連行事(代々木国立競技場)

5月2日(水)	18：00～19：10　男子：日本ナショナルチーム＊ユーゴ男子ナショナルチーム	
5月3日(祝)	11：00～11：30　「夢のハンドボール」（トランポリン使用によるスカイプレイ） 12：00～13：00　女子：日本学生選抜チーム＊USA女子ナショナルチーム 13：15～15：30　関東チビッ子ハンドボール大会 15：30～16：30　日本・ユーゴナショナル選手によるハンドボール教室　出場希望者によるペナルティスローゲーム（賞品多数） 17：00～18：10　男子：日本ナショナル＊ユーゴナショナルチーム	
5月3日(木)～5日(土)	★第25回全日本実業団ハンドボール選手権大会（女子）参加チーム　10チーム	名古屋市
5月9日(水)～11日(金)	★第25回全日本実業団ハンドボール選手権大会（男子）参加チーム　10チーム	大阪市

ロスへみんなで応援に行こう！

ロスオリンピックツアーの追加募集をしています。Aコース(41万円)Bコース(40万円)Cコース(53万円）各若干名。昼夕食及び入場券の料金は別。入場券の費用は、Aコース（3回分)約14,000円、Bコース（4回分)約21,000円、Cコース（7回分)約35,000円ですが、ほかに他の時間帯（日中、夜間）又は女子の試合も若干組合せます。

(申込方法等は次ページをご覧下さい。)

【Aコース】		【Bコース】	
7月30日	A・Cコース　成田空港出発17：20(JL62)	8月6日	日本＊デンマーク他2試合(Bコース成田空港出発17：20JL62)
7月31日	日本＊東ドイツ他2試合	8月7日	(女子)
8月1日	(女子)	8月8日	日本＊USA他2試合(Bコースディズニーランド観光)
8月2日	日本＊ユーゴ他2試合(A・Cコースディズニーランド観光)	8月9日	(女子)
8月3日	(女子)	8月10日	5位～12位決定戦
8月4日	日本＊ハンガリー他2試合	8月11日	1位～4位決定戦
8月5日	(女子)	8月12日	B・Cコース　ロサンゼルス出発13：00(JL61)
8月6日	ロサンゼルス出発13：00(JL61)	8月13日	B・Cコース　成田空港着16：15
8月7日	Aコース成田空港着16：15		

【Cコース】

日本協会の電話番号が4月2日から変更になります。新電話番号03－481－2361・2362

賛助会はみんなの会だ

☆　何をするか？

オリンピックはどうなっている？
今年はどんな外国チームが来る？
日本リーグで強いのはどこか？
大学では？　高校では？
ハンドボールのビデオが欲しい。

そう。学校卒業後ハンドボールから遠ざかってしまったがハンドボール界の様子を知りたいという人、もっとハンドボールのテクニックを研究したいという人、……。みんながハンドボールを見たり、やったりして enjoy できればいいのです。

☆　会員になったら？

次のような特典があります。

①日本ハンドボール協会編月刊「ハンドボール」を毎月送ります。
②ハンドボールのイベントなどの情報をお届けします。
③日本ハンドボール協会主催の各種大会，日本リーグが無料で見られます。
④ハンドボールビデオ，スコアブック，ルールブック，教程書等を特別価格でお頒けします。

☆　会費は？

①個人会員　1口　5千円　1口以上
4口（2万円）以上納付された方を特別個人会員として機関誌に公示し，希望により口数に応じた特典を差し上げます。
③法人会員　1口5万円　1口以上
6口（30万円）以上納付された方を特別法人会員として機関誌に公表し，希望により口数に応じた特典を差し上げます。

年会費は、財団法人日本ハンドボール協会の賛助会特別会計で処理され，賛助会の経費に充てた余剰は、強化及び普及事業に充当されます。

☆　入会の手続きは？

特別の郵便振替用紙（兼申込書）を用意してありますので、ご請求ください。本紙にも綴じ込んであります。

ＯＢ会、会社や地方協会など団体で個人会員をまとめて納付される場合は、手数料として会費の10%を控除していただいて結構です。

特別賛助会員御芳名

（太字は前号以降。敬称略。受付順）

※特別法人会員　㈱デサント　アシックス㈱　新日本製鉄㈱　㈱三陽商会　中村荷役運輸㈱　㈱三景　ジャスコ㈱　大同特殊鋼㈱　**ブラザー工業㈱**　日本ビクター㈱　大田印刷㈱　**大崎電気工業㈱**　**日新製鋼㈱**　**㈱日立製作所栃木工場**

※特別個人会員　滝沢　武（滝沢ハム・栃木市）　斎藤英四郎（日本協会・東京都）　荒川清美(同)　武田喜三(同)　大野金一(同)　竹内史衛（淡青社公認会計士事務所・東京都）　**伊崎克己**（群馬県）　**黒田節郎**（日本協会・日野市）大変有難うございました。

3月7日現在　法人会員10社
個人会員36名

ロスオリンピックツアー募集

企　　画　ISSA
〒104　東京都中央区銀座3-11-14
ダバクリエートビル2階
電話 (03)542－0879
旅行主催　㈱東京航空サービス
（一般旅行業第93号）
旅行取扱い　㈱トラベルランドコーポレーション

参加申込方法

◙昭和59年3月31日までに左記 ISSA 内ロスアンジェルスオリンピック・ツアーまで申込金20万円を下記にお払込みのうえお申込み下さい。
◙振込銀行：第一勧業銀行西銀座支店
◙口　　座：普通口座１１２７０３４
◙口 座 名：ロスアンジェルスオリンピック観戦の旅

爽快創刊！

ハンドボールマガジン



ファン待望の専門誌

迫力あるグラフで大接近

いま、熱いメッセージが君に届く！

ハンドボールマガジン5月号（創刊号）4月16日全国書店発売予定

——高校選抜大会大特集——増ページのため特別定価550円——

特集

- 春一番！高校選抜大会 豊富な写真と記事で全試合収録
- がんばれニッポン！LA（ロサンゼルスオリンピック）をめざして 全日本チームメンバー紹介・合宿ルポ、ほか
- 日本リーグ東西オールスター戦
- 全日本男子ヨーロッパ遠征
- 関東・関西学生選抜 西ドイツ武者修業

★創刊記念特別プレゼント★ぜ〜んぶあげちゃう

連載

- 人物クローズアップ
- チーム・ルポ（学校訪問—中学、高校）
- 世界のハンドボーラーたち
- 海外情報
- 協会だより（連盟報告）

★豪華執筆陣による技術解剖

- これがオフェンスだ！
- 中・高校生のためのパワーアップ・トレーニング
- 我が校のトレーニング紹介

★そのほか、いろんな情報満載！

〒101東京都千代田区神田錦町3-3 **ベースボール・マガジン社** ☎03(291)7901

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二三一七号
昭和四十年（　）七日　第三種郵便物認可
昭和五九年十二月二十五日　印刷
昭和五九年十二月一日　発行



都渋谷区神南一ー一ー一
電話　代表(467)七〇九七
振替　東京　六ー五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)